

## 著作権とフリーソフトについて (2)

では絵はどうなるのでしょうか。このあたり難しいことがあります。例えば、以前の雑誌でよくあった漫画をまねて描いて投稿するというコーナーは著作権になるのでしょうか。このごろだとインターネット上に自分で書いたものを投稿したりするページがたくさんあります。以前は全く問題にされていませんでしたが、現在ではどうでしょうか。自分で書いたキャラクタをまねて描いたイラストを自分のホームページ上で公開する段階であれば著作権を侵害しないものと考えています。もちろん本物のイラストをどこかのページから持ってきたり、スキャナで読み込んだりしたものを自分で描いたものとして公開するのは問題があると思いますが。ただし、公開することは問題が無いにしてもそのキャラクタには作者の著作権が存在します。それがどれだけ下手なものであってもまねて書いたということからすればオリジナルではなくなります。ですから、そのイラストをフリー画像として配布を目的に公開したり、会員から料金を取ったりして有料で売買することは著作権違反になると考えられると考えています。オリジナルが存在するわけですから。その意味からインターネット上にたくさんあるフリーの素材(ホームページを作成する場合の背景やアイコンなどの画像のこと)のページについても問題がある可能性があります。そのページの素材を利用するほうとしてはフリー素材として公開されているわけですから著作権的にも問題無いものとして利用しますが、本当にオリジナルなものなのかは疑問のものもあると考えています。つまり、イラストレータなどの仕事を専門にしているわけではない素人が自分で書いたものを公開しているわけですから、もとのイラストやキャラクタが存在している可能性は十分にあります。先日もありましたが、ウルトラマンのシリーズもののアイコンを自分で作って専門ページとして公開しているフリー素材のページがありました。この場合もちろんウルトラマンの著作権を持っているところの許可を得ているわけはありません。確かに小さいアイコンにうまくデザインされたものでしたがそのアイコン自体はオリジナルでしょうが元となるものが存在するわけですからそのままでは著作権侵害となると考えられます。つまり、完全なオリジナルなイラストやアイコンでない限りその画像をフリー素材として公開することは問題がある可能性があるということです。ただ、現在のところこのような画像のやり取りによって著作権を持つところが大きな損害を受けていないということがあり、キャラクタなどの人気の1つのバロメータになっていることがあり、問題になっていないというか問題にしていなだけでと考えると。だからといって著作権的に問題が全く無いというわけではありません。著作権は著作権者死亡から50年が有効なわけですから。

さてついでに音楽のほうもちょっと。音楽にも著作権があるのは当たり前ですが、先日聞いた話では、日本の音楽関係の著作権は日本音楽著作権協会が管理しているようで、作ったものは発表前にこの協会に登録ようです。著作権教会に登録したものについてはたとえそのオリジナルを作った人間であっても自由に使うことができなくなり、自分の歌を歌っても著作権使用料を協会に支払い改めて著作権料を受け取ることになっているそうです。つまり、著作権者であっても自由に使うことができないということです。

このようにイラストや音楽などについてはデータがデジタル化したことによってこれまで以上に著作権が問題となることが多くなっています。インターネット上で公開されているからといって大丈夫でない場合もあります。(次回へ続く)

(今週の情報誌から)

○日経エレクトロニクス 3月10日号

特集 コピーに自由を

→音楽や動画などのコンテンツを暗号化して伝送し視聴できるユーザや機器、コピーできる回数などを制限するDRM技術に崩壊を示す兆候が出てきている。DRMは著作権者の権利を守るための技術で、無ければ違法コピーが野放しとなる。しかし、ユーザにとっては利便性が悪く、不満がこれまでもあった。クリエイタへの対価の還元とユーザの自由の両立のできる新たな著作権管理が求められてきている。

○日経パソコン 3月10日号

特集 PCの「正しい」捨て方2008

→パソコンを買い換えたいけど古いパソコンをどうするかが問題。その方法は大きく分けて2つある。1つはPCリサイクルで処分する方法。網1つは売ってしまう方法。PCリサイクルはこのごろのパソコンであれば購入時の価格にリサイクル料金が含まれているので、メーカなどに回収を申し込めば処理ができる。古いパソコンでもいろいろな点で需要があるので中古ショップなどに持っていけば買ってくれる。

特集 びっくりウィルステクノロジー

→コンピュータウィルスは日々進化している。当初は自己満足やいたずら目的があったが、このごろは商売道具になっている。商売となれば手口はだんだん巧妙化する。本当のサイトを装ったり、メールを送ったりする。簡単にメールで送られてきたアドレスにアクセスすると大変。十分注意してメールだけでなくサイトも見なければならない。